

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年12月8日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0272300948		
法人名	有限会社ファイブ・ワン		
事業所名	グループホームえびす		
所在地 (電話番号)	〒038-3802 青森県南津軽郡藤崎町藤崎字西浅田20-2 (電話) 0172-75-5995		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年10月16日	評価確定日	平成21年12月8日

【情報提供票より】(平成21年9月30日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 17年 7月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	13 人	常勤	13人, 非常勤 人, 常勤換算 13人

### (2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2 階建ての 階 ~ 2 階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	9,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有( 円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 350 円
	夕食	350 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

### (4) 利用者の概要( 9月30日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護1	2 名	要介護2	6 名		
要介護3	3 名	要介護4	7 名		
要介護5	名		要支援2	名	
年齢	平均 84 歳	最低	60 歳	最高	96 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	せきばクリニック、佐藤歯科医院
---------	-----------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは2階建てで居間からは岩木山が一望出来る。各居室からはりんご畑や野菜畑、田んぼが眺められ、カーテンや絨毯を違えてより個性的に、家庭的な雰囲気心穏やかに落ち着ける住環境づくりがなされている。近年の利用者の重度化に伴って2カ月に1回のモニタリングを行ない、利用者の状態に応じた利用者本位のケアサービスを大事にしている。それが、利用者の明るく元気な活きた表情に現われている。地域との交流も積極的であり、行政主催の「ふじフェスタ」に出店したり、総合防災訓練に参加して災害時は地域の受け入れ協力施設となっている等地域へも貢献されている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>同業者との交流については、今年度から町内のグループホームとの意見交換会を行い、町ぐるみで情報を共有しながらサービスの質の向上に努めている。又、権利擁護についても勉強会を開催して全職員に理解を深めていく予定との事で、改善に向けての取り組みが行われている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は最初に職員5人位で作成し、それを全職員に回覧し意見を聞いてまとめている。前回の外部評価の改善点について充分に検討しながら前向きに取り組まれている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は2カ月に1回開催され、行政担当者や民生委員、家族等の参加者に日々の利用者の生活状況や活動、外部評価等について報告されている。意見交換やアドバイスを頂き、サービスの向上と改善に活かされている。今後は是非、防災避難訓練の協力への働きかけを期待します。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)</p> <p>家族の面会時や3カ月毎に発行する広報誌にて利用者の近況報告を行っている。1カ月に1回、家族へ請求書を送付する際には意見要望用紙を一緒に送り、要望等が出しやすいように配慮している。又、出された意見、要望、苦情等は報告書を作成提出し、改善内容を全職員で共有しサービスに反映している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域主催のお茶会や行政主催の「ふじフェスタ」等地域の各種行事に参加している。保育園との交流や中学校の福祉体験学習の受け入れも積極的に行っている。又、利用者とともにビニールハウスを設置して畑作業を行っており、近隣の農家の方からアドバイスを頂いたり、野菜を頂いたりする等日常にお付き合いと交流が持たれている。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	グループホーム独自で作り上げた「認知症高齢者の方々と共同生活を通し、環境と暮らしを支えます」という理念を掲げ、地域の中での暮らしを支えている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は毎日のミーティングの中で理念を共有し、日々のケアに取り組み実践されている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	近隣の農家の方が野菜等を持って来てくれたり、地域の方がホームの敷地内の自動販売機を利用している等日常的に交流されている。又、ホームの行事の夏祭りに来て頂いたり、行政主催の「ふじフェスタ」や地域主催のお茶会へも参加している。保育園との交流や中学校の福祉体験の受け入れ等を行い、積極的に地域との交流がされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価は職員が協力して作成している。外部評価の結果はミーティングで報告し、改善点について職員の意見を聞き改善に取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は2カ月に1回行われている。日々の生活状況、活動、外部評価の報告を行い、意見交換やアドバイスを頂き、サービス向上に活かされている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>数カ月に1回町のグループホームと行政との意見交換が行われ、積極的な話し合いがされている。行政の担当者とは連携がとれ、相談しやすい環境にある。協力を得ながらサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>総括管理者が研修に参加し、全職員への勉強会を予定している。</p>		<p>制度を利用している方はいないとの事ですが、管理者だけでなく全職員が学ぶ機会を持ち、今後、家族等から相談された時はすぐ対応出来るようにして頂く事を望みます。</p>
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>内部研修会を行って職員は認識しており、日々確認しながら防止に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には十分な説明を行い利用者、家族が不安のないように納得して頂いている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族の面会時や支払い時、3か月に1回の広報誌等にて利用者の近況報告を行っている。出納帳の出し入れは毎月家族に報告されている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見要望箱は設置せず、家族へ請求書を送る際、意見要望用紙を一緒に送り、要望等が出しやすいように配慮されている。出された意見、要望等は報告書を作成提出し、改善内容をサービスに反映している。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>2年に1回、事業所間での異動はあるが、出来るだけ異動のないように努めている。退職者なく、異動時も利用者へダメージを与えないように配慮されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>内部研修は2カ月に1回定期的に行われている。又、資格取得のための勉強会を週1回実施している。班毎にテーマを決めて発表する等積極的に取り組み、職員の育成がされている。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>今年度から2カ月に1回、町のグループホームと意見交換会が行われ、各ホームの管理者、職員が参加して情報を共有しながら町ぐるみでサービスの向上に努めている。</p>		
<b>2</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前に自宅へ事前訪問面接に行ったり、ホームの見学をして頂き不安なく入居出来るように配慮されている。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>ビニールハウスの野菜作りを教えて頂いたり、調理の下ごしらえや漬物を一緒に漬けたりする等たくさんの事を利用者から学びながら支え合い生活している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p>					
<p><b>1. 一人ひとりの把握</b></p>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>一人ひとりの生活歴やアセスメント、日々の生活の様子から、思いや意向をくみ取るよう努めている。</p>		
<p><b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b></p>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>家族が面会に来た時に介護計画についての希望を伺いプランに反映されている。又、担当職員は介護計画の他に毎月外出、散歩等の計画も作成しており、質の高いサービスを提供するよう取り組んでいる。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>利用者の状態が重度化してきている為状態変化が著しく、モニタリングは2カ月に1回行われている。定期的な見直しは6カ月に1回、状態が変化した場合は随時行っている。</p>		
<p><b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b></p>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>デイセンターの温泉や慰問時は招待を受けて行ったり、町のお茶会に参加したりしている。又、帰宅願望のある時はその都度臨機応変に対応し、柔軟な支援がなされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居前のかかりつけ医への受診は継続されている。協力医は2週間に1回往診に来てくれている。又、通院時の送迎も支援されている。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化や終末期に向けては家族、かかりつけ医、職員と話し合いがなされ方針も共有している。家族の意向に沿って終末ケアを行っている。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>入浴と排泄介助は同性介助としている。居室の個人名の表札は家族の同意を得られていない。又、面会簿も一覧になっているので誰でも見れる状態である。</p>		<p>居室の個人名の表札は家族からの了解を得ることが望まれます。又、面会簿に関しても個人票にしたり、箱に入れる等個人情報の取り扱いの工夫が望まれます。</p>
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者のその日の状態やペースに合わせ、希望に添ってショッピングや外食、散歩等を支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者と職員は一緒にテーブルで会話をしながら楽しい雰囲気ですべてを摂っている。食後の片付けは利用者と一緒にしている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴は週3回行っている。希望に応じてシャワー浴を実施している。入浴時はマンツーマン対応で入浴を楽しめるよう支援されている。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>農作業、洗濯ものたたみ、食後の片付け、裁縫、メモ用紙作り等利用者の得意なものを生かせるように支援されている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>利用者と担当職員とで食事に出かけたり、ショッピング、散歩等外出の支援がされている。</p>		



外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員の勉強会で理解を深め、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は夜のみ施錠している。日中は帰宅願望の利用者がいる為玄関の出入り時センサーが反応するように、鍵をかけない工夫がされている。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災訓練は行政主催で年1回行われ参加している。ホームでも年1回実施し、消火器の取り扱い方法等学んでいる。設備は完備されているが、地域の人たちの協力が得られる体制づくりはされていない。		夜間を想定した場合等、消防団や地域の人たちの協力が一人でも多く得られるように、運営推進会議等で取り入れ、話し合い働きかけていく取り組みを期待します。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は職員がバランスを考え作成している。食事量、水分量は職員が一人ひとりを把握している。極端に摂取量が少ない時は記録して健康管理に努めている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	嗽や手指消毒の徹底がなされている。利用者、職員は毎年インフルエンザの予防接種を受けている。又、マニュアルも整備され、職員は理解し日々対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p>					
<p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居間からは岩木山やりんご畑、居室からは野菜畑や田んぼが眺められ自然を満喫出来る。又、居間はとても明るく、食卓テーブルやソファが置かれたり、廊下の一角にも椅子が置かれ、利用者は好きな場所でくつろげる。床は絨毯が敷かれ、家庭的な雰囲気居心地よく過ごせる工夫がされている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には備付けのクローゼットがあり、収納スペースが確保されている。利用者は使い慣れた家具や写真等を置き、利用者のニーズに合わせ過ごしやすい工夫がされている。</p>		

 は、重点項目。